

# 目 次

## 論文の部

1. 知的側面からとらえる ‘幼児期の科学’ ……………	1
—ピアジェの認識論と幼稚園教育要領の対比から— 高根沢伸友, 青柳 宏	
2. 通常の学校における特別支援教育体制へのスクールカウンセラーの関与 (その2) ……………	13
—学校不適応状態と発達障害との関連について— 小野寺利津子, 池本喜代正	
3. 中学校の通常学級担任による特別支援教育の視点に立った学級づくり……………	21
柳 百合子, 司城紀代美	
4. 新任教員の生活科における職能成長の研究: PAC分析の比較から ……………	29
久保田善彦, 刀川 啓一, 中谷かおり, 野口 昌宏, 益田 裕充	
5. 栃木県の小学校日本語指導教室における多文化共生教育に関する事例研究……………	35
竹元 志穂, 丸山 剛史	
6. 授業とは何をいうか……………	43
—発言のひびき合い— 溜池 善裕	
7. 小学校1年生の加法方略の進展の特徴についての一考察 ……………	51
湯澤 敦子, 日野 圭子	
8. 数学的規範の形成を促す算数の指導に関する研究……………	61
—多様な考えを比較検討する規範に焦点を当てて— 大嶋 靖久, 牧野 智彦	
9. タイリクバラタナゴ雌とカネヒラ雄の雑種 (タナゴ亜科魚類) の染色体研究……………	69
上田 高嘉	
10. 高等学校化学における溶液の指導方法の検討……………	75
千葉 祐輔, 山田 洋一	

11. 教員養成課程における和声教育の事例……………	83
新井 恵美, 木下 大輔	
12. 文化庁事業「Dr.りえのおしゃれなクラシック」の実施による小学校音楽鑑賞教育法の研究(2) ……	89
—子供の鑑賞能力の発達に着目して—	
平井 李枝	
13. 日本の伝統工芸を取り入れた図画工作指導……………	97
～和紙を探る～	
田島 陽子, 松島さくら子	
14. ESDの概念を取り入れた住教育プログラム……………	107
—提案と考察—	
陣内 雄次, 奥田 悠夏, 上田由美子	
15. 発達段階を踏まえた食教育の試み……………	115
～咀嚼と消化への理解を目指して～	
大森 玲子, 岩渕千鶴子, 高田 明美, 磯 裕子, 星野めぐみ, 上原 秀一	
16. 中学校英語教科書におけるto不定詞の扱い……………	123
—その不備と今後の改善について—	
谷 光生	
17. マイクロ操作に基づいた教育用コンピュータ・ネットワークシミュレータの開発と評価……………	131
石川 賢, 川島 芳昭	
18. 見取図から立体を作製する体験的な活動を含む学習指導が 小学校算数科の複合図形の体積の学習に与える影響……………	139
杉山 薫, 川島 芳昭, 石川 賢	
19. 生産的な合意形成に至るための思考手順に関する一考察……………	147
—「現実の明瞭化」・「理想の明確化」・「方法の明快化」の三点思考—	
佐々木英和	

## 教育実践報告の部

1. ケアとしての対話……………	155
—哲学カフェの実践から考える—	
加藤ジオランデル, 青柳 宏	
2. 被災地における子どもの遊びと学び……………	167
～2013年亘理町立逢隈小学校サマースクールの実践から～	
長谷川万由美	
3. 道徳読み物資料「ぐみの木と小鳥」の各社版の比較……………	173
木名瀬 明, 小森喜代美, 濱田真由美, 藤井さおり,	
松本 朋子, 上原 秀一	
4. 道徳読み物資料と「公共の精神」……………	177
會田 優子, 内海 雅之, 小森喜代美, 土田 礼巳,	
上原 秀一	
5. 「不登校について学び・つながる会」の実践（2014年度）……………	181
川原 誠司, 阿部佳保里, 稲田 若恵, 原 裕子	
6. 「コミュニケーション演習」「メンタルヘルス実習」という教育的実践（2014年度）……………	187
川原 誠司	
7. 受講生のニーズを考慮した必修科目「メンタルヘルス実習」の展開……………	193
—授業内容の紹介と受講生による評価についての報告—	
白石 智子	
8. 小学校における自ら感じ、考える道徳の時間を目指して……………	197
～資料の吟味と授業の構想を通して～	
大森 真弓, 和井内良樹	
9. 中学校における自ら感じ、考える道徳の時間を目指して……………	203
～資料の吟味と授業の構想を通して～	
大高 知子, 和井内良樹	
10. 「強い行動」を現す障害のある子どもとの教育的係わり合い……………	209
—子どもの行動の意味を考えながら—	
坂入 治枝, 岡澤 慎一	
11. 重度・重複障害児との教育的係わり合いに関する一考察……………	213
—子どものイニシアチブを大切にしながら—	
鶴田 奈美, 岡澤 慎一	

12. 「その子らしい」一人学習とは……………	217
—「大造じいさんとガン」の実践から—	
渡辺 知世, 溜池 善裕	
13. 話し合い活動で育つ支え合うクラス……………	221
伊藤多輝子, 溜池 善裕	
14. 天然記念物ミヤコタナゴの保全に向けた取り組み……………	225
—希少魚種の飼育がもたらす教育的効果—	
深田 陽平, 岡戸 陽子, 松井 良仁, 藤本 和泉,	
松本 勇, 滝沢 宏之, 上田 高嘉	
15. 大学生に対する著作権教育の試み……………	229
—基盤教育科目「著作権法入門」を通して—	
新井 恵美	
16. 本学学生の体力・運動能力調査結果および全国平均との比較……………	233
—教育学部生18歳を対象とした平成25年度調査結果から—	
茅野 理子, 小宮 秀明, 加藤 謙一, 黒後 洋,	
平野 智之, 久保 元芳	
17. 特別支援学校におけるリズム遊びの実践事例……………	237
茅野 理子	
18. 小学生を対象としたものづくり教室‘こども技塾うつのみや’実践報告……………	241
戸田富士夫, 松原 真理	
19. 小学校における技術教育の実践報告……………	245
杉原 悠介, 松原 真理	
20. 中学校家庭科における実践力の育成プロセスを意識した教材開発……………	251
赤塚 朋子, 星 良美	